

■客員研究員研究

内戦・津波災害下の子ども健康

—スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差—

関 育子（研究代表者）

（財）アジア女性交流・研究フォーラム 客員研究員

喜多 悦子（共同研究者）

今村 尚美（共同研究者）



財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

客員研究員研究

内戦・津波災害下の子どもの健康
—スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差—

財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

客員研究員 関 育子

共同研究者 喜多 悦子 今村 尚美

研究組織

データ分析	関 育子	日本赤十字九州国際看護大学
アドバイザー	喜多悦子	日本赤十字九州国際看護大学
データ収集・分析	今村尚美	日本赤十字九州国際看護大学大学院 (日本赤十字熊本赤十字病院看護係長)

経過

2009年7月13～17日	スリランカ訪問, データ収集
2009年11月	中間発表

〔著者紹介〕

関育子(せき いくこ)

日本赤十字九州国際看護大学教授

〔主要業績〕

『系統看護学講座 災害看護学・国際看護学』(医学書院、2010年)

『ケニア共和国医療技術教育強化プロジェクト看護教育』(国際協力機構報告書、2000年)

『アフリカ長期滞在者のマラリア罹患状況と抗マラリア剤予防内服の関連性の疫学的研究』(1991年)

喜多悦子(きた えつこ)

日本赤十字九州国際看護大学学長

〔主要業績〕

『系統看護学講座 災害看護学・国際看護学』(医学書院、2010年)

『グローバルゼーションの中の女性』(明石書店、2008年)

『感染症対策を超えて: グローバリゼーション時代の健康問題』(国際書院、2005年)

『紛争時、紛争後におけるメンタル・ヘルスの役割』(独立行政法人国際協力機構客員研究員報告書、2005年)

『地球環境ハンドブック第2版』(朝倉書店、2002年)

『開発と健康』(有斐閣、2001年)

『経済開発とエイズ: 監訳』(東洋経済新報社、1999年) 他、著作多数

今村尚美(いまむら なおみ)

日本赤十字九州国際看護大学大学院(熊本赤十字病院看護係長)

〔主要業績〕

『ナースの生きがい3』(真興交易医書出版部、1998年)

内戦・津波災害下の子どもの健康
—スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差—

2010年3月

発行 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
北九州市大手町ビル3F
TEL:093-583-3434 FAX:093-583-5195
E-mail:research@kfaw.or.jp; <http://www.kfaw.or.jp>
